

【表紙】

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年11月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第122期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日） |
| 【会社名】 | 中外鉱業株式会社 |
| 【英訳名】 | Chugai Mining Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 葛山 稔 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 |
| 【電話番号】 | (03)3201-1541(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 小原 淳史 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 |
| 【電話番号】 | (03)3201-1541(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 小原 淳史 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第121期 第2四半期連結 累計期間 | 第122期 第2四半期連結 累計期間 | 第121期 |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日 | 自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 9,444,953 | 7,913,958 | 19,556,218 |
| 経常利益(千円) | 851,516 | 403,006 | 1,485,816 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 219,948 | 37,693 | 241,607 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 817,242 | 373,957 | 1,355,535 |
| 純資産額(千円) | 8,383,141 | 7,835,345 | 7,819,071 |
| 総資産額(千円) | 9,610,142 | 10,770,075 | 9,144,723 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 0.76 | 0.13 | 0.83 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 80.92 | 72.75 | 85.27 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 1,281,072 | 3,670,653 | 959,096 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 125,657 | 189,736 | 170,450 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 148,999 | 1,121,819 | 246,286 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円) | 1,163,714 | 717,806 | 3,456,377 |

| 回次 | 第121期 第2四半期連結 会計期間 | 第122期 第2四半期連結 会計期間 |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日 | 自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 1.88 | 3.14 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

「投資事業」に関する任意組合契約

| 契約名 | 契約先 | 契約内容 | 契約年月日 | 契約期間 |
|--------|---------------------|---|------------|--|
| 任意組合契約 | (連結子会社) C R 任意組合 | 任意組合出資者が共同で投資事業を行う任意組合契約。同事業から生じた損益を、任意組合出資者に出资比例で分配する。 | 平成25年8月16日 | 平成25年8月16日～平成26年8月15日 以降、出資者の合意により再契約 |
| 任意組合契約 | (連結子会社) I R 任意組合 | 任意組合出資者が共同で投資事業を行う任意組合契約。同事業から生じた損益を、任意組合出資者に出资比例で分配する。 | 平成25年8月16日 | 平成25年8月16日～平成26年8月15日 以降、出資者の合意により再契約 |

(注) C R 任意組合、I R 任意組合ともに、出資者の合意によりそれぞれ1年間の再契約をおこなっております。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による金融政策等を背景に円安・株高が進み、景気に持ち直しの動きが見られるものの、円安による原材料価格の高騰、欧州経済や中国を始めとする新興国経済の減速等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、6月下旬に米国の量的緩和早期縮小懸念等により大幅に下落したものの、地政学的リスクの高まりから資産保全としての有用性が再認識されたことによりその後は上昇基調で推移いたしました。売上高においては金原料の集荷量が当初見込みを下回ったことから減少いたしました。宝飾市況においては、個人消費の本格的な回復が見込めず、厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、低金利の継続や税制等の政策支援により、住宅購入環境に改善の兆しがみられるものの、資金調達環境に改善の兆しはみられず、依然厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、北米市場は堅調に推移したものの、中国及びアジアをはじめとする新興国の成長鈍化等が影響し、厳しい受注環境のもと推移いたしました。投資事業においては、金先物価格が低調に推移したことから評価損を計上したものの、当連結会計年度第1四半期に運用益を計上したことが寄与し好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,913,958千円(前年同四半期9,444,953千円)、営業損益は401,018千円の利益(前年同四半期の827,265千円の利益)、経常損益は403,006千円の利益(前年同四半期851,516千円の利益)、四半期純損益は37,693千円の利益(前年同四半期219,948千円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は5,219,399千円(前年同四半期6,763,476千円)、営業損益は110,008千円の損失(前年同四半期135,665千円の損失)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は503,175千円(前年同四半期474,919千円)、営業損益は45,508千円の損失(前年同四半期34,796千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は227,234千円(前年同四半期135,844千円)、営業損益は134,372千円の損失(前年同四半期14,245千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は986,193千円(前年同四半期851,745千円)、営業損益は23,830千円の損失(前年同四半期10,177千円の利益)となりました。

投資事業におきましては、売上高は955,979千円(前年同四半期1,218,967千円)、営業損益は939,960千円の利益(前年同四半期1,208,626千円の利益)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より、2,738,571千円減少し、717,806千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3,670,653千円(前年同四半期は1,281,072千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益407,495千円、貸付商品の減少額679,348千円、デリバティブ債務の増加額472,925千円があったものの、預け金の増加額4,774,357千円、デリバティブ債権の増加額262,120千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は189,736千円(前年同四半期は125,657千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出184,811千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,121,819千円(前年同四半期は148,999千円の獲得)となりました。これは主に短期借入れによる収入1,200,000千円があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、72,935千円であります。

当社グループは、再生可能エネルギーの研究開発を目的とした再生可能エネルギー事業部を設立し、太陽光を利用した淡水化装置の開発や太陽光・風力・蓄電池の独立系システムの開発、マグネシウムを利用したエネルギーシステムの構築、さらには温泉発電など地熱利用関連における研究開発を大学や研究機関と連携しながら行っております。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、金地金の生産及び販売実績が著しく減少いたしました。

これは主に、金地金原料集荷量が当初想定を下回ったことによるものであります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|---------------|
| 普通株式 | 1,158,900,000 |
| 計 | 1,158,900,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日) | 上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 289,747,982 | 289,747,982 | 東京証券取引所市場第二部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 289,747,982 | 289,747,982 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数 増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成25年7月1日～ 平成25年9月30日 | - | 289,747,982 | - | 12,782,064 | - | - |

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (百株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%) |
|----------------|--------------------------|---------------|------------------------------------|
| 有限会社マイネン | 東京都中央区日本橋一丁目21番4号 | 181,606 | 6.27 |
| 株式会社フェンテ | 東京都渋谷区円山町6番7号 | 146,849 | 5.07 |
| 有限会社メティス | 東京都中央区銀座六丁目12番13号 | 125,260 | 4.32 |
| 有限会社ライデンシャフト | 東京都中央区日本橋茅場町二丁目5番2-1101号 | 123,707 | 4.27 |
| 株式会社Collco | 東京都中央区日本橋二丁目16番6-53号 | 108,565 | 3.75 |
| 株式会社プレサージュ | 東京都品川区西五反田二丁目6番3号 | 107,823 | 3.72 |
| 株式会社ムーンズティア | 東京都渋谷区神山町41番7-302号 | 106,628 | 3.68 |
| 有限会社ブラフィット | 東京都江戸川区西葛西二丁目18-1-303号 | 102,773 | 3.55 |
| BOOCSダイエット株式会社 | 東京都新宿区住吉町8番22号 | 100,756 | 3.48 |
| 東京産業株式会社 | 東京都世田谷区新町二丁目9番16-202号 | 87,628 | 3.02 |
| 計 | - | 1,191,596 | 41.13 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|------------------|-----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 89,700 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 289,255,600 | 2,892,556 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 402,682 | - | - |
| 発行済株式総数 | 289,747,982 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 2,892,556 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が23,600株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数236個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 中外鉱業株式会社 | 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 | 89,700 | - | 89,700 | 0.03 |
| 計 | - | 89,700 | - | 89,700 | 0.03 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について監査法人ハイビスカスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,456,377 | 717,806 |
| 売掛金 | 16,072 | 21,082 |
| 商品及び製品 | 571,112 | 800,332 |
| 仕掛品 | 141,608 | 12,399 |
| 原材料及び貯蔵品 | 38,915 | 14,659 |
| 販売用不動産 | 297,611 | 28,817 |
| 仕掛不動産 | 369,285 | 496,289 |
| 貸付商品 | 679,348 | - |
| 預け金 | 200,300 | 4,974,657 |
| デリバティブ債権 | 30,552 | 292,672 |
| その他 | 110,719 | 57,596 |
| 流動資産合計 | 5,911,903 | 7,416,314 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,143,637 | 1,146,462 |
| 減価償却累計額 | 345,301 | 381,735 |
| 建物及び構築物(純額) | 798,336 | 764,726 |
| 機械装置及び運搬具 | 570,066 | 630,232 |
| 減価償却累計額 | 375,180 | 398,131 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 194,886 | 232,101 |
| 土地 | 1,550,882 | 1,550,882 |
| 建設仮勘定 | 19,352 | 140,600 |
| その他 | 121,781 | 122,353 |
| 減価償却累計額 | 91,541 | 96,386 |
| その他(純額) | 30,239 | 25,966 |
| 有形固定資産合計 | 2,593,697 | 2,714,278 |
| 無形固定資産 | | |
| 地上権 | 365,000 | 365,000 |
| その他 | 1,865 | 3,971 |
| 無形固定資産合計 | 366,865 | 368,971 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 101,946 | 101,946 |
| 出資金 | 9,205 | 9,205 |
| 長期未収入金 | 487,019 | 487,019 |
| 敷金及び保証金 | 149,582 | 147,657 |
| その他 | 11,523 | 11,703 |
| 貸倒引当金 | 487,019 | 487,019 |
| 投資その他の資産合計 | 272,257 | 270,512 |
| 固定資産合計 | 3,232,819 | 3,353,761 |
| 資産合計 | 9,144,723 | 10,770,075 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,228 | 26,731 |
| 短期借入金 | - | 1,200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 148,255 | 139,958 |
| 未払金 | 46,401 | 34,641 |
| 未払法人税等 | 50,070 | 25,419 |
| デリバティブ債務 | 6,927 | 479,852 |
| その他 | 26,883 | 38,024 |
| 流動負債合計 | 281,766 | 1,944,627 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 808,020 | 738,180 |
| 長期未払金 | 9,000 | 5,400 |
| 金属鉱業等鉱害防止引当金 | 7,033 | 7,033 |
| 預り敷金保証金 | 23,291 | 21,518 |
| 繰延税金負債 | 19,200 | 38,623 |
| 資産除去債務 | 177,339 | 179,348 |
| 固定負債合計 | 1,043,885 | 990,103 |
| 負債合計 | 1,325,651 | 2,934,730 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,782,064 | 12,782,064 |
| 利益剰余金 | 4,953,428 | 4,915,735 |
| 自己株式 | 30,941 | 30,984 |
| 株主資本合計 | 7,797,695 | 7,835,345 |
| 少数株主持分 | 21,376 | - |
| 純資産合計 | 7,819,071 | 7,835,345 |
| 負債純資産合計 | 9,144,723 | 10,770,075 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 9,444,953 | 7,913,958 |
| 売上原価 | 7,910,365 | 6,756,605 |
| 売上総利益 | 1,534,588 | 1,157,353 |
| 販売費及び一般管理費 | 707,322 | 756,334 |
| 営業利益 | 827,265 | 401,018 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 88 | 106 |
| 国庫補助金収入 | 66,224 | 45,186 |
| 為替差益 | - | 5,603 |
| その他 | 3,534 | 4,748 |
| 営業外収益合計 | 69,847 | 55,644 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,280 | 12,662 |
| 休山管理費 | 38,380 | 40,876 |
| その他 | 935 | 118 |
| 営業外費用合計 | 45,596 | 53,656 |
| 経常利益 | 851,516 | 403,006 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | - | 4,488 |
| 特別利益合計 | - | 4,488 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 851,516 | 407,495 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 19,957 | 14,115 |
| 法人税等調整額 | 14,315 | 19,422 |
| 法人税等合計 | 34,273 | 33,537 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 817,242 | 373,957 |
| 少数株主利益 | 597,293 | 336,264 |
| 四半期純利益 | 219,948 | 37,693 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 817,242 | 373,957 |
| 四半期包括利益 | 817,242 | 373,957 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 219,948 | 37,693 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 597,293 | 336,264 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 851,516 | 407,495 |
| 減価償却費 | 79,144 | 64,354 |
| 受取利息及び受取配当金 | 88 | 106 |
| 支払利息 | 6,280 | 12,662 |
| 補助金収入 | 66,224 | 45,186 |
| 負ののれん発生益 | - | 4,488 |
| 少数株主損益(は益) | - | 349,352 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 35,203 | 5,010 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 66,930 | 66,035 |
| 貸付商品の増減額(は増加) | 30,137 | 679,348 |
| 仮払金の増減額(は増加) | 150 | 4,001 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 261 | 23,503 |
| 未払金の増減額(は減少) | 1,363 | 13,185 |
| デリバティブ債権の増減額(は増加) | 1,218,967 | 262,120 |
| デリバティブ債務の増減額(は減少) | - | 472,925 |
| 預け金の増減額(は増加) | 860,612 | 4,774,357 |
| その他 | 20,658 | 57,268 |
| 小計 | 1,321,816 | 3,674,216 |
| 利息及び配当金の受取額 | 88 | 106 |
| 利息の支払額 | 5,037 | 9,115 |
| 補助金の受取額 | 66,224 | 45,186 |
| 法人税等の支払額 | 20,531 | 32,614 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,281,072 | 3,670,653 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の償還による収入 | 4,000 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | 129,745 | 184,811 |
| 無形固定資産の取得による支出 | - | 2,229 |
| 子会社出資金の取得による支出 | - | 3,800 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 365 | 60 |
| その他 | 452 | 1,164 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 125,657 | 189,736 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | - | 1,200,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | 29,000 | - |
| 長期借入れによる収入 | 240,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | 62,001 | 78,137 |
| 自己株式の取得による支出 | - | 43 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 148,999 | 1,121,819 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,257,730 | 2,738,571 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,421,444 | 3,456,377 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,163,714 | 717,806 |

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|------|---|---|
| 給料 | 264,643千円 | 298,475千円 |
| 地代家賃 | 70,125 | 68,143 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 1,163,714千円 | 717,806千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | - | - |
| 現金及び現金同等物 | 1,163,714 | 717,806 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合 計 | 調整 額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上 額 (注)3 |
|---------------------------------------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|-------------|-----------|-----------------|-----------------------------------|
| | 貴金属 事業 | 宝飾 事業 | 不動産 事業 | 機械 事業 | 投資 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客 への売上 高 | 6,763,476 | 474,919 | 135,844 | 851,745 | 1,218,967 | - | 9,444,953 | - | 9,444,953 |
| (2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高 | - | - | 8,033 | - | - | - | 8,033 | 8,033 | - |
| 計 | 6,763,476 | 474,919 | 143,878 | 851,745 | 1,218,967 | - | 9,452,987 | 8,033 | 9,444,953 |
| セグメント利 益又はセグメ ント損失 () | 135,665 | 34,796 | 14,245 | 10,177 | 1,208,626 | 56,222 | 977,873 | 150,607 | 827,265 |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究開発関連を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 150,607千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 150,607千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合 計 | 調整 額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上 額 (注) 3 |
|---------------------------------------|-----------|----------|-----------|----------|----------|-----------------|-----------|------------------|------------------------------------|
| | 貴金属 事業 | 宝飾 事業 | 不動産 事業 | 機械 事業 | 投資 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客 への売上 高 | 5,219,399 | 503,175 | 227,234 | 986,193 | 955,979 | 21,977 | 7,913,958 | - | 7,913,958 |
| (2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高 | - | - | 8,033 | - | - | - | 8,033 | 8,033 | - |
| 計 | 5,219,399 | 503,175 | 235,267 | 986,193 | 955,979 | 21,977 | 7,921,992 | 8,033 | 7,913,958 |
| セグメント利益 又はセグメント 損失() | 110,008 | 45,508 | 134,372 | 23,830 | 939,960 | 65,836 | 560,403 | 159,384 | 401,018 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連及び研究開発関連を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 159,384千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 159,384千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更等)

前第3四半期連結会計期間から、「貴金属事業」に含まれていた「宝飾事業」について質的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、当第2四半期連結会計期間から、「調整額」に含まれていた企画開発関連及び研究開発関連を事業セグメントとしたため、「その他」の区分に記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(デリバティブ取引関係)

対象物の種類が商品その他の取引であるデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度(平成25年3月31日)

| 対象物の種類 | 取引の種類 | 契約額等(千円) | 時価(千円) | 評価損益(千円) |
|----------|-------------|-----------|-----------|----------|
| 商品その他の取引 | 金先物取引 売建 | 1,821,304 | 1,797,679 | 23,625 |

当第2四半期連結会計期間(平成25年9月30日)

| 対象物の種類 | 取引の種類 | 契約額等(千円) | 時価(千円) | 評価損益(千円) |
|----------|-------------|------------|------------|----------|
| 商品その他の取引 | 金先物取引 買建 | 23,124,756 | 22,937,576 | 187,180 |

(注) デリバティブ取引はヘッジ会計を適用しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 0円76銭 | 0円13銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 219,948 | 37,693 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 219,948 | 37,693 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 289,659 | 289,658 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

中外鉱業株式会社

取締役会 御中

監査法人ハイビスカス

指定社員
業務執行社員 公認会計士 阿部 海輔 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高橋 克幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中外鉱業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、中外鉱業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。